

主な審議内容

平成26年度補正予算等

Q 地方交付税は今後どう推移するのか？

A 本年度は、前年度に比較し、約2億円の減額となっており、今後、厳しい状況が予想される。事業展開には基金の取り崩しも考えなければならぬ。できるだけ、安定財政を堅持したい。

Q 国は、地方再生に取り組む姿勢なので、財政的な支援を強く働きかけては！

A これからも、財政確保のため、各町村協力して、国に働きかける。

Q 保健センターの除雪機購入があるが、今後のセンターの管理は？

A 今まで、保健センターの管理は、社会福祉協議会に委託していたが、事務所移転にあたり、委託ができなくなる。今後、管理をする方を決めて、保健センターとしての機能を十分活かせるようにしていきたい。

Q 町民プールの燃料費の追加は？

A 当初、プールの水温を28度に設定していたが、利用者から寒いとの声があり、30度に変更したのと、施設劣化を防ぐために、湿気の多い室内空気を換気する必要があり、それにより下がった室内温度を上げるために、燃料費を追加した。昨年は月曜日を休館日としていたが、今年は、休館日をなくしたので、開館日数も増えている。

Q スケートリンクの散水車購入で、事故等の対策は？

A また、借り上げと購入とのランニングコストの差は？

A 保険は、自賠責保険と造成委員会で加入の保険にて対応。今まで、造成委員の車を借り上げていたが、今後、借り上げが不可能となったため、購入予算を計上した。

Q 十勝川河畔林等伐採処理はどの部分をどのように処理するのか？

A 鹿の駆除のため伐採した河畔林の柳と、さけ定置網漁具被害を軽減するために海岸に集積された流木を処理。処理方法は、産業廃棄物処理業者に委託してクラッシュ処理する。

会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

▷憲法解釈変更による「集団的自衛権の行使容認」に反対する意見書

▷林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

▷釧路地方裁判所帯広支部における労働審判の実施を求める意見書

▷「手話言語法」の制定を求める意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

意見書

委員会レポート

産業厚生常任委員会で8月26日に、「農作物の作況について」所管事務調査を行いました。

町内の農作物の作況について、8月26日に開催された町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

調査当日は、町内の7圃場6作物について一圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病害虫の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。

本年は、4月下旬から5月上旬にかけて天候に恵まれ甜菜の移植作業や馬鈴薯の植付作業が平年より早く終わり、豆類についてもは種作業は平年並みだったが、その後の好天候により、順調に生育している。

調査時点での作物ごとの生育状況は、豆類については、莢数も多く、平年以上の収量が期待できる状況である。甜菜についても、病気も少なく、根周は平年を大きく上回り、高収量が期待される。馬鈴薯も、5月の干ばつの影響を受



農作物作況調査

け生育が停滞していたが、その後の好天候により平年並みの収量が見込まれる。

牧草について、1番草は、生育、生収量ともに平年並み。2番草は順調に生育している。デントコーンは

平年以上の生育で、台風の影響がなければ良質なものが確保できるものと期待できる。
なお、現地調査は行わなかったが、

すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、5月の干ばつと開花期の悪天候の影響で、平年を下回る収量と見込まれる。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後の台風等により作物への影響が懸念されるところである。

また、今後においては、病虫害による被害、霜の降りる時期によつては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。
一部の排水不良圃場においては生育不良がみられることから、全町的に中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備対策や、平成20年度から行われている土層改良を目的とした排水不良圃場への泥炭土の受け入れ継続など、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるにあたり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等とおして指導を徹底されたいなどの意見が出された。

総務文教常任委員会で 津波緊急避難場所視察

9月5日に、総務文教常任委員会で、国道336号津波緊急避難場所と、大津港町築山津波緊急避難場所の現況を視察した。



国道336号津波緊急避難場所

336号避難場所は、昨年度新たに整備された避難場所で、車が120台ほど駐車できるスペースが確保され、発電機等の災害備品も設置される。
大津築山避難場所は、取り付け道路の整備状況を確認した。